

パブリックコメント意見への対応

○意見募集期間：令和4年1月25日～令和4年2月10日（17日間）

○意見提出件数：11件（4人）

項目	意見の概要	件数	県の考え方
1 はじめに (P1)	そもそも「中播磨地域」がどのエリアを指すのか説明が必要ではないか。	1	【反映】 冒頭（はじめに）に中播磨地域の説明（管轄エリア、位置図等）を追記しました。
4（3） 行動目標 ①（P16）	中播磨が誇る地域資源である世界遺産・姫路城は、兵庫県で唯一の世界遺産であることも強調すべき。	1	【反映】 「 <u>県内で唯一の世界遺産である姫路城</u> 」と修正しました。
4（3） 行動目標 ③（P18）	中播磨の人が地元の魅力を知らなすぎ。まずは自分たちの住む地域の魅力を学ばないといけない。	1	【記載済み】 取組アイデア案に「まずは自分たちの地域の魅力を学ぶことから始める」と記載済みです。
4（3） 行動目標 ⑤（P20）	学生だけでなく、失業者や転職者等にも「就労に必要な知識や技術」を学べる場が必要である。	1	【反映】 「就労に必要な知識や技術を誰も <u>がいつでも学べる場</u> 」と修正しました。
4（3） 行動目標 ⑧（P23）	オンライン授業だけでは不十分であり、人と人とが直接触れ合えないと学べないことがある。	1	【記載済み】 「オンライン教育を活用しながらも、オンラインでは養われないリアルな体験や、空気・息づかいの共有等を通して」と記載済みです。
4（3） 行動目標 ⑪（P26）	県立はりま姫路総合医療センターの説明を書くべき。また、病院の写真が分かりにくい。	1	【反映】 病院の説明として「播磨姫路圏域における中核的な総合病院として」を追記するとともに、写真を変更しました。
4（3） 行動目標 ⑮（P30）	海外では消防活動へのドローンの活用が進んでいる。人が近づけない場所の火事をドローンが消火する未来はすぐそこまで来ていると思う。	1	【反映】 取組アイデア案に、ドローンなど先端技術を活用した防災・減災活動を追記しました。

項目	意見の概要	件数	県の考え方
4 (3) 行動目標 ⑩ (P31)	兵庫県指定伝統工芸品の「姫路はりこ」のことが書かれていない。	1	【反映】 伝統工芸の例示に「姫路はりこ」を追記しました。
	ふるさと意識を醸成するためには、郷土の偉人だけではなく、歴史や文化等もきっちり教えることが必要である。	1	【反映】 「子どものときから郷土の偉人や <u>歴史、文化等</u> について教える」と修正しました。
その他	計画を作って、そこで終わってしまうのが行政の悪いところ。しっかりPRしていくことが大事だと思う。	1	【今後の参考】 今後、より多くの方にビジョンを知ってもらえるよう、あらゆる機会を捉えて、普及啓発を進めていきます。
	2050年の主役となる子どもたちにしっかりアピールしていくことが重要だと思う。	1	【今後の参考】 高校生が描いたイメージイラスト等を活用しながら、分かりやすいパンフレット等を作成するなど、若年層向けのPRに努めていきます。